



PORSCHE



# ニュー718 GTS 4.0モデル およびニューマカンGTS プレスキット

プレスキット

# 目次

## 燃料消費量およびCO<sub>2</sub>排出量 4

マカン、718ケイマンおよび718ボクスターの新しいモデル

## 3つのニューGTSモデル - スポーティーな加速、 エクスクルーシブなルックス 5

ハイライト

## 718ボクスターGTS 4.0および718ケイマンGTS 4.0 7

概要

## ニュー718 GTS 4.0モデル： あらゆる感覚のためのドライビングプレジャー 8

エンジンおよびトランスミッション

## 最高出力400PSの高回転型高性能エンジン 11

シャシーおよびアシストシステム

## 傑出したハンドリングのためのドライビングダイナミクス 14

デザインおよびインテリア装備

## エクスクルーシブなパッケージの卓越したスポーツ性 17

ハイライト

## マカンGTS 20

---

概要	
<b>ニューマカンGTSで、ミドルサイズSUVレンジが完成</b>	<b>21</b>
エンジンおよびトランスミッション	
<b>特に自然なレスポンス特性を持つツインターボエンジン</b>	<b>23</b>
シャシーおよびシャシーシステム	
<b>ローダウンされたシャシーによるスポーティーなチューニング</b>	<b>25</b>
デザインおよび装備	
<b>スポーツデザインパッケージの個性的な外観</b>	<b>26</b>
アシストおよびコンフォートシステム	
<b>ドライバーをより広範囲にアシスト</b>	<b>28</b>
歴史	
<b>904カレラGTSからはじまるGTSモデルの歴史</b>	<b>30</b>

## 燃料消費量およびCO<sub>2</sub>排出量

718ボクスターGTS 4.0:燃料消費量 – 15.4リッター/100km(市街地)、8.1リッター/100km(郊外)、10.8リッター/100km(複合):CO<sub>2</sub>排出量 246g/km

718ケイマンGTS 4.0:燃料消費量 – 15.4リッター/100km(市街地)、8.1リッター /100km(郊外)、10.8リッター/100km(複合):CO<sub>2</sub>排出量 246g/km

マカンGTS:燃料消費量 – 12.1リッター/100km(市街地)、8.0リッター/100 km(郊外)、9.6リッター/100km<sup>1)</sup>(複合)(9.5リッター/100km)<sup>2)</sup>:CO<sub>2</sub>排出量 218g/km<sup>1)</sup>(216g/km)<sup>2)</sup>

EUモデルに関する情報。

燃料消費量およびCO<sub>2</sub>排出量の数値は、新しい「乗用車等の国際調和排出ガス・燃費試験法」(WLTP)を使用して計算されました。ここから計算されたNEDCの数値は当分の間継続して明記されます。これらの数値は、これまで使用されてきたNEDC測定手順に基づいて計算された数値と比較することはできません。新型乗用車の正式な燃料消費量および詳しいCO<sub>2</sub>排出量の詳細については、「新型乗用車の燃料消費量、CO<sub>2</sub>排出量および電力消費率に関するガイドライン」を参照してください。これは、すべての正規販売店およびDeutsche Automobil Treuhand GmbH(DAT)から無料で入手することができます。

<sup>1)</sup> このデータは、デンマーク、フランス、スウェーデン、アイスランド、スイス、オーストリア、フィンランド、オランダ、ノルウェー、ベルギー、マルタ、キプロスには適用されません。

<sup>2)</sup> このデータは、デンマーク、フランス、スウェーデン、アイスランド、スイス、オーストリア、フィンランド、オランダ、ノルウェー、ベルギー、マルタ、キプロスのみに適用されます。

---

マカン、718ケイマンおよび718ボクスターの新しいモデル

## 3つのニューGTSモデル - スポーティーな加速、 エクスクルーシブなルックス

グランツーリスモスポーツを表すGTSは、ポルシェでは伝統的に純血種のパフォーマンスと日常の使い勝手の両立を意味してきました。特にエクスクルーシブな外観を備え、桁外れのスポーティーなパフォーマンスを発揮するこれらのスポーティーなオールラウンドモデルは、それぞれのポルシェモデルシリーズのSモデルと、ハイパフォーマンスなGTモデルの中間に位置づけられています。マカンGTS、718ボクスターGTS 4.0および718ケイマンGTS 4.0の3モデルが、この伝統を引き継ぎます。ミドルサイズSUVシリーズであるニューマカンGTSは、Sおよびターボモデルのスポーティーなリンクというポジションであり、4リッター水平対向6気筒自然吸気エンジンを搭載した2シーターのニューGTSは、スポーツカーセグメントの718スパイダーと718ケイマンGT4の直下に位置づけられています。

すべてのポルシェGTSモデルには、特にスポーティーでエクスクルーシブな装備が与えられると同時に、傑出したパフォーマンスと感動的なエンジンサウンドが特徴となっています。それぞれのGTSは、ポルシェの特徴であるドライビングダイナミクスとロングドライブの快適性を両立し、そのような特性をサーキットでも日常のドライビングでも体験できるようになっています。自然な出力特性と大トルクの余裕を備えたエンジンによって、Sモデルよりもパフォーマンスが高められています。718 GTS 4.0モデルには、718スパイダーにも採用されている4リッターエンジンが搭載され、718ケイマンGT4は必要なパワーを発揮します。マカンGTSには、2.9リッターツインターボエンジンが装備されています。このエンジンは、出力レベルは異なりますが、マカンターボだけでなく、パナメーラおよびカイエンモデルにも搭載されています。

GTSモデルは、巨大な加速力に加え、横方向のダイナミクスを備えています。これを実現するために、サスペンションコンポーネントにさらにスポーティーなチューニングが施され、コーナリング中の安定性とトラクションが高められています。標準装備には、アダプティブダンパーシステムのポルシェアクティブサスペンションマネジメント(PASM)と車高を下げたサスペンションも含まれ、特に精確なドライビングフィールが得られます。マカンGTSは、Sバージョンと比較して最大15mm車高が低くなり、718 GTS 4.0モデルは最大20mm低くなっています。

専用設計により、すべてのGTSモデルのスポーティーな特性が視覚的に強調されています。エクステリアでは、個別にデザインされたフロントおよびリアセクション、サイドスカート、スモークのライトモジュール、ブラック塗装仕上げの大径ホイール、サイドとリアのブラックの「GTS」ロゴ、および標準装備のスポーツエグゾーストシステムのブラックテールパイプなどが含まれます。工場出荷時にはすでにスポーツシートが装備され、最適なサイドのサポートと高い快適性を提供します。スポーティーでエレガントなGTSデザインは、カーマインレッドまたはクレヨン(装備パッケージによって異なります)とのコントラストを生むブラックトリムエレメントが特徴です。また、アルカンターラ®が随所に使用されています。

## ハイライト

# 718ボクスターGTS 4.0および718ケイマンGTS 4.0

## スポーティーなデュオ。

GTSモデルの特徴である、純粋なスポーツカー体験と卓越した日常の使い勝手が両立しています。最高出力がSモデルモデルより37kW(50PS)高められた新しい718 GTS世代は、718スパイダーおよび718ケイマンGT4の真下に位置づけられます。

## パワフルな4リッター自然吸気エンジン。

294kW(400PS)の最高出力を発揮する水平対向6気筒エンジンは、ダイレクトなレスポンスと、リニアな出力特性で感動を誘います。6速マニュアルトランスミッション装備車の0～100km/h加速は4.5秒で、最高速度は293km/hに達します。

## コーナーでの精密なハンドリング。

標準装備のポルシェアクティブサスペンションマネジメント(PASM)と20mm車高が低くなったスポーツサスペンション、そして2ステージ調整式のポルシェスタビリティーマネジメント(PSM)が桁外れの俊敏なドライビング特性を約束します。

## 6速マニュアルトランスミッションを標準装備。

ダブルマスフライホイールを備えた6速マニュアルトランスミッションがエンジンのパワーを途切れることなく推進力に変えます。また、ショートストロークのギアシフトがアクティブなドライビング体験を強調しています。

## エクスクルーシブで魅力的な装備パッケージ。

標準装備には、ダークアルカンターラインテリア、20インチ 718スポーツ ホイール、PASMシャシー、スポーツエグゾースト システム、高解像度のポルシェコミュニケーションマネジメント(PCM)、7インチタッチディスプレイおよびスポーツクロノパッケージが含まれます。

## 概要

# ニュー718 GTS 4.0モデル： あらゆる感覚のためのドライビングプレジャー

ポルシェは、そのミッドエンジンスポーツカーのラインナップに、スポーティーでエクスクルーシブな「718ケイマンGTS 4.0」と「718ボクスターGTS 4.0」の2つのモデルを追加します。新しい2シーターは、718スパイダーおよび718ケイマンGT4に採用されているものと同じく4リッター6気筒水平対向自然吸気エンジンを搭載し最高出力は294kW(400PS)を発生します。6速マニュアルトランスミッションとスポーツエグゾーストシステムの組み合わせは、抜群の出力供給と非常に満足感の高いドライビングプレジャーをもたらします。静止状態から4.5秒で100km/hまで加速し、最高速度は293km/hに達します。新世代のGTSは、標準装備のポルシェアクティブサスペンションマネジメント(PASM)スポーツサスペンションにより20mm低く設定された車高、そしてメカニカルリミテッドスリップリアディファレンシャルを備えたポルシェトルクベクトリング(PTV)によって、ダイナミックなハンドリングと日常的な快適性の間のすぐれたバランスを実現します。さらに、アップグレードされたポルシェトラックプレジジョンアプリを備えた標準装備のスポーツクロノパッケージは、ミッドシップエンジンスポーツカーならではのキャラクターを強調します。ブラックによるコントラストカラーのデザインエレメントとダークカラーのアルカンターラ®インテリアは、GTSモデル特有のハイライトを生み出します。

718スパイダーおよび718ケイマンGT4に採用されているものと同じパワフルな4リッターエンジンは、抜群の効率性を特徴とします。低負荷時に2つのシリンダーバンクを交互に停止するアダプティブシリンダーコントロール、ピエゾインジェクターによるダイレクトフューエルインジェクション、および可変インタークシステムも、車両の効率性に貢献します。GTSエンジンは、すぐれたパワーリザーブとダイレクトな応答特性も印象的で、無理なく7,800rpmの回転数に達します。さらに、ダイナミックダンパーコントロールを備えた標準装備のスポーツエグゾーストシステムによって、6気筒水平対向エンジンの豊かなサウンドを楽しむことができます。718 GTS 4.0モデルは、718スパイダーGT4および718ケイマンGT4由来のツインテールパイプ・スポーツエグゾーストシステムを採用しています。これは、サドルタイプのデザインを備えており、GTSモデル専用開発されたブラックによるコントラストカラーのリア下部セクションのためのスペースを設けます。



シャシーは、非常に精確なハンドリング、俊敏なステアリング、応答性にすぐれたコーナリングによって、エキサイティングなドライビングエクスペリエンスを約束します。標準装備のPASMスポーツサスペンションは20mm車高を下げたシャシーと連動し、ダイナミックなハンドリングと日常の使用に適したサスペンションの快適性を兼ね備えます。また、車高を10mm下げるPASMサスペンションもオプションで用意され、シャシーのクリアランスと快適性を確保します。その他の標準装備には、独立して選択可能なPSMスポーツモードを備えたポルシェスタビリティーマネジメント (PSM)、アップグレードされたポルシェトラックプレジジョンアプリを含むスポーツクロノパッケージ、ポルシェアクティブドライブトレインマウント (PADM)、およびメカニカルリミテッドスリップリアディファレンシャルを備えたポルシェトルクベクトリング (PTV) などのパフォーマンス指向のコンポーネントが含まれます。

このミッドシップエンジンスポーツカーには、サテングロスブラックの20インチ軽合金製ホイールと高性能タイヤ (フロント:235/35 ZR 20、リア:265/35 ZR 20) が装着されています。強化されたブレーキシステムは、クロドリルドディスクとレッドに塗装されたキャリパーを備えます。オプションとしてポルシェセラミックコンポジットブレーキ (PCCB) が用意されています。

スポイラーリップ、スポーツデザインフロントエプロンのブラックのエアインテーク、フロントフォグライトレンズ、リアライトレンズ、および再設計されたリア下部バンパーに適用されるコントラストダークカラーによるディテールは、GTSモデル特有のスポーツ性を表現しています。

インテリアでは、ダークカラーのアルカンターラ®がスポーティーでエレガントな雰囲気を生み出します。標準装備のスポーツシートプラスのセンターパネル、ステアリングホイールリム、センターコンソール、シフトレバー、および両側ドアのアームレストに、このアルカンターラが使用されています。718ケイマンGTS 4.0の場合は、Aピラーとルーファイニングもアルカンターラで覆われます。オプションのGTSインテリアパッケージを選択すると、別色のカーマインレッドまたはクレヨンを追加して、レブカウンター、シートベルト、ヘッドレストの「GTS」刺繍ロゴを含むデコレイティブステッチ、およびブラックボーダー付フロアマットの「PORSCHE」ロゴを強調することができます。トリムエレメントとセンターコンソールトリムはカーボン製です。

718 GTS 4.0モデルには、高解像度7インチタッチスクリーンを備えたポルシェコミュニケーションマネジメント (PCM) と拡張されたトラックプレジジョンアプリを含むスポーツクロノパッケージが標準装備されます。モータースポーツに由来するこのスマートフォンアプリは、サーキットにおいてPCMディスプレイにパフォーマンス関連のデータを表示し、後で分析するために記録します。日本仕様にはリアルタイム交通

---

情報を備えたオンラインナビゲーションモジュール、ボイスコントロール、Porsche Connectも標準装備に含まれます。BOSE®サラウンド サウンド システムやBurmesterハイエンド サラウンド サウンド システムはオプションとして用意されています。

エンジンおよびトランスミッション

## 最高出力400PSの高回転型高性能エンジン

ニュー718 GTS 4.0モデルの心臓部は、4リッター水平対向6気筒自然吸気エンジンです。最高出力294kW(400PS)のこのエンジンは、Sモデルの4気筒ターボエンジンの最高出力を37kW(50PS)上回り、その特にダイレクトなレスポンス特性とリニアな出力特性で他を圧倒します。ニューGTSモデルのエンジンは、718ケイマンGT4および718スパイダーのものと基本的に同じです。このボクサーエンジンは、現行の911カレラ モデルシリーズのエンジンと同じシステムをベースにしています。最高出力には7,000rpmで到達し、電子リミッターは7,800rpmという高回転まで作動しません。最大トルクの420N・mは5,000~6,500rpmで発生します。駆動力は6速マニュアルトランスミッションで伝達され、スポーツモードではダイナミックスロットルブリップ機能が作動します。

このため、圧倒的な性能値を実現しています。718 GTS 4.0の両モデルの最高速度は293km/hに達します。0~100km/h加速性能については、6速マニュアルトランスミッションを装備した718 GTS 4.0はターボエンジンを搭載したSモデルより1/10秒勝り、100km/hまで4.5秒で加速します。また、0~200km/h加速はわずか14.1秒です。

新型2シーター718 GTS 4.0の6気筒ボクサーエンジンは高性能かつ高回転のエンジンで、卓越した効率性も誇ります。アダプティブシリンダーコントロールをはじめとした多くのテクノロジーが、718スパイダーおよび718ケイマンGT4の低燃費化および低排出ガス化を実現しています。1,600~2,500rpmで、負荷要求が100N・mまでである場合、2つのシリンダーバンクの1つのインジェクションを一時的に停止します。その場合、6気筒エンジンは、一時的に片方のシリンダーバンクのみの3気筒モードで稼働します。負荷が一定である場合、触媒コンバーターへの均一な負荷やフローを確保するために、シリンダーバンクは20秒毎に切り替えられます。わずかにサウンドのパターンが変化すること以外、ドライバーはこの切り替えを感じることはありません。しかし、その効果は明白です。アダプティブシリンダーコントロールは、1kmあたりのCO<sub>2</sub>排出量を最大11g削減します。この機能は、スタート/ストップ機能とともに解除することができます。

## ピエゾインジェクター採用のダイレクト フューエル インジェクション

燃焼室での混合気の生成は、微粒子の要件を満たします。高回転型エンジンとしては初めて、ピエゾ素子がダイレクト フューエル インジェクション (DFI) を制御します。これらは制御電圧をかけると膨張して、中央に配置されたインジェクターのインジェクションバルブを開放します。一方で電流がかかっていない場合は、素子が収縮してインジェクションバルブが閉じます。これにより、燃料噴射を精密に各行程に分割することが可能となり、燃焼がさらに精確に行われます。最大200barの燃料圧力で霧状に微粒子化された燃料が最適な噴射パターンで噴射され、シリンダー壁面の液滴の形成やすすの生成の可能性を減少します。その結果、燃費およびエミッションの削減と、6気筒エンジンの効率性の向上が実現しています。

可変インテークシステムが、燃焼室での高速な混合気形成を補助します。このシステムは2つのレゾナンスフラップを備えます。これらは、出力要件に応じて個別または同時に開き、エンジン回転数に合わせて吸気バルブに至る気柱の脈動の周期を調整します。これは、シリンダーの充填レベルを高め、その結果、さらにすぐれたトルク特性が得られます。

## 信頼性にすぐれた高回転コンセプト

6気筒自然吸気エンジンの高回転コンセプトは、4.0リッターボクサーエンジン向けに集中的に強化されたテクノロジーをベースにしています。機械的には、高張力鋼合金製の堅牢な鍛造クランクシャフト、慎重に幅を拡大したコンロッドベアリング、形状が最適化されたピストンロッド、および直径67mmの大径のクランクシャフトメインベアリングなどのコンポーネントによってシリンダーのピーク圧力に対応します。一体化されたドライサンプ潤滑システムも同じ目的のために採用されています。これにより、前後および横方向の加速が大きい状態でも、エンジンへの最適なオイル供給が可能となります。一体化された遠心ベーンタイプのサクシオンポンプは、オイルと空気を分離します。また、ファインオイルセパレーターもエミッションおよび潤滑剤の消費量を低減します。堅牢なプラスチック製のオイルパンの重量は、同等の鋳造パーツと比較して36.5%減となっています。

エンジンの高回転域では、油圧式バルブクリアランス補正に対応したロッカアームによってバルブが作動します。電子式エンジン・マネージメントシステムは、負荷条件、エンジン回転数および温度範囲に応じてバリオカム機構が採用された4本のカムシャフトのタイミングを調整します。例えば、エグゾースト側のカムシャフトは、30°角までの範囲で調整されます。その結果、エンジンの全回転域で、傑出したドライバビリティと、高出力および大トルクが得られます。

## ガソリン微粒子フィルターを装備したスポーツエグゾースト システム

718 GTS 4.0モデルには、718ケイマンGT4および718スパイダーと同じ2本出しテールパイプのスポーツエグゾースト システムが採用されています。その設計および大径のパイプにより排気の背圧が軽減され、パフォーマンスの向上につながっています。注目すべきディテールは、メインサイレンサーのアーチ型サドル構造で、これは中央部に配置されています。ダンパーコントロールにより、特に高回転域での自然吸気ボクサーエンジンの特徴的なサウンドが維持されています。これは、完全可変でエンジン特性によって制御され、エンジン温度および負荷条件に応じたカリスマ的なサウンドで、エモーショナルなドライビング体験にアクセントを加えます。

それと同時に、スポーツエグゾースト システムではガソリン微粒子フィルター (GPF) を使用することができます。アダプティブ シリンダー コントロール、高圧ガソリン直噴システムのピエゾインジェクターおよびスタート/ストップ機能が連携し、このシステムのEuro 6d-Temp排ガス規制への適合に貢献しています。2つのO<sub>2</sub>センサーが、広帯域O<sub>2</sub>制御システムを介してそれぞれのシリンダーバンクの排気ガス生成を個別に制御します。もうひとつのセンサーがそれぞれの触媒コンバーターによる汚染物質の浄化を監視します。GPFで必要な再生処理は自然に行われ、ドライバーが感じることはありません。※日本仕様はGPF非装着です。

## ダブルマスフライホイールを備えた6速マニュアルトランスミッションを標準装備

6速マニュアルトランスミッションが6気筒自然吸気エンジンのパワーを後輪に伝達します。ダイナミックスロットルブリップ機能がシフトダウン時の車両の安定性を改善し、摩耗を軽減します。ドライビングダイナミクスに影響するパワートレインの挙動はPADM (ポルシェアクティブドライブトレインマウント) によって減衰されます。これらは伝達される振動を最低限に抑制します。718 GTS 4.0モデルには、911 GT3のダブルマスフライホイールが採用されています。

シャシーおよびアシストシステム

## 傑出したハンドリングのためのドライビングダイナミクス

718 GTS 4.0モデルのきわめてスポーティーなデザインは、ドライビングダイナミクスにも反映されています。ボックスターとケイマンは特に精確なハンドリング、俊敏なステアリングおよびレスポンスの高いコーナリングで他を圧倒します。標準装備のサスペンションでは、サーキットで使用に適した718ケイマンGT4の鋭さを省き、日常の使い勝手を優先しています。このため718 GTS 4.0の両モデルはサーキットでも日常使用でも体験できるダイナミクスとドライビング快適性を犠牲にすることなく完璧に組み合わせた純血種のスポーツカーです。

718 GTS 4.0の両モデルには、アダプティブダンピングシステムであるポルシェアクティブサスペンションマネジメント (PASM) とスポーツサスペンションが標準装備されます。このサスペンションでは、ボックスターおよびケイマンの車高を20mm低く設定しています。また、快適性を重視するドライバーのために、車高が-10mmのPASMスポーツサスペンションがオプションで用意されています。現代的なシャシーレイアウトと強化された高性能ブレーキシステムの組み合わせにより、スポーティーな硬さと長距離ドライブでの快適性の卓越したバランスを実現しています。

718ボックスターGTS 4.0および718ケイマンGTS 4.0に標準装備される他のパフォーマンスコンポーネントには、個別に選択可能なPSMスポーツモードに対応したポルシェスタビリティーマネジメント (PSM)、スポーツクロノパッケージおよびトラックプレジジョンアプリ、ポルシェアクティブドライブトレインマウント (PADM) およびリアディファレンシャル採用のポルシェトルクベクトリング (PTV) などが含まれます。

PSMは、ダイナミックなドライビングの限界域で車両を安定させ、高度な安全性を確保します。また、PSMは走行方向、車速およびヨーレートに加え横方向の加速も決定します。例えば、サーキットで718 GTS 4.0のさらなる限界を探りたいという野心的なドライバーのために、スポーツクロノパッケージにPSMスポーツモードが含まれています。完全制御のシステムと比較して、PSMが介入して保護するまで、垂直軸周りのより大きなヨーイングと駆動輪の滑り出しが許容されるため、大幅にスポーティーなドライビングスタイルが可能です。その結果、サーキットなどの安全な環境でレースにより近いドライビング体験が可能です。

スポーツクロノパッケージは「ノーマル」、「スポーツ」、「スポーツプラス」および「インディビジュアル」の設定でニューポルシェ718 GTS 4.0のスポーツ性能をさらに強化します。これらは直径360mmのGTスポーツステアリングホイールに人間工学的に配置されたモードスイッチを使ってドライバーがステアリングホイールから手を放すことなく作動させることができます。それぞれのプログラムは、エンジンのレスポンス、パワーステアリング、アクセルペダル、PASMサスペンションシステム、スポーツエグゾーストシステムのダンパーコントロール、オートスタート/ストップ機能およびリトラクタブルリアスポイラーに影響を与えます。例えばスポーツプラスモードは、ポルシェ718 GTSをサーキットで使用するために調整されています。個別のモードに、ユーザーが自分のセッティングを定義することもできます。また、トラックプレジジョンアプリもスポーツクロノパッケージの一部に加えられています。

標準装備のポルシェトルクベクトリング(PTV)および機械式リアアクスルディファレンシャルロックも、パフォーマンスとドライビングプレジャーにプラスの効果をもたらします。コーナー進入時に内側のリアホイールにブレーキパルスを加えることで車体の垂直軸周りに角運動量が生じ、ステアリング精度および俊敏性が高まります。タイトコーナーからの脱出時には、機械式ディファレンシャルロックが外側のホイールにより大きなパワーを配分し、トラクションが増大します。その結果、前後方向および横方向のダイナミクスが高まり、パフォーマンスが向上するとともに、より大きなドライビングプレジャーが得られます。

ポルシェアクティブドライブマウントは、スポーツクロノパッケージのもうひとつの特別な装備です。これらは、エンジン/トランスミッション付近の振動を最小化し、ドライブトレインの総質量変化によってドライビングダイナミクスに影響を与えるような挙動を抑制します。このようにアクティブドライブマウントは、ハードとソフトトランスミッションマウントのそれぞれの長所を活かします。高速コーナーおよび荷重変化時のより精確で安定したハンドリングと、悪路での高い走行快適性を実現しています。

他の718モデル同様、GTS 4.0には電気機械式パワーステアリングが装備されています。ケイマンおよびボクスターの先代モデルと比べて、ステアリングレシオが10%ダイレクト寄りに変更されたため、より俊敏なハンドリングとなっています。ステアリングギアは911ターボのものを採用し、360mm径のGTスポーツステアリングホイールは918スパイダーのデザインをベースとしています。

## 大型化されたブレーキシステム

強化されたパワフルなねずみ鋳鉄製ブレーキシステムは一貫して大きな制動力を発揮し、718 GTS 4.0モデルのスポーツカーらしい特性を強調します。フロントアクスルのブレーキキャリパーは6つのピストンでパッドをブレーキディスクに押し付け、リアには4ピストンキャリパーが装備されます。コンポジットブレーキディスクのサイズは、フロント350 x 34mm、リア330 x 28mmとなっています。最適な放熱のために、クロスドリルドのベンチレーテッドディスクが採用されています。ポルシェは、718モデルにマルチコリジョンブレーキも装備しています。これは、1次衝突後に自動的に制動を行い、エアバッグを展開して2次衝突の被害を軽減します。718 GTS 4.0モデルには、ポルシェセラミックコンポジットブレーキ (PCCB)もオプションで装備できます。フロントアクスルでは、350 x 34mmのブレーキディスクにイエロー塗装の6ピストン固定式キャリパーが組み合わされます。リアには350 x 28mmのディスクと4ピストン固定式キャリパーが使用されています。718 GTS 4.0には、サテングロスブラックの20インチアルミホイールが標準装備されます。専用のフロント235/35 ZR 20およびリア265/35 ZR 20のスポーツタイヤが路面を捉えます。



デザインおよびインテリア装備

## エクスクルーシブなパッケージの卓越したスポーツ性

2シーターの718 GTS 4.0は精巧にアクセントを加えるデザイン要素で、特別なスポーツ性を表現します。これまでのポルシェGTSモデルと同じように、ブラックのディテールが重要な役割を果たします。例えば、一部がブラックのスポーツデザインフロントエプロンとそのリップスポイラー、および完全にダークなエアインレットが、さらに逞しい外観を作り出しています。バイキセノンヘッドライトとティンテッド加工されたフロントライトモジュールも、アクセントを付加します。これらには、ポルシェダイナミック ライトシステム (PDLS)、またはLEDヘッドランプとの組み合わせたではPDLS Plusを装備することもできます。サイドビューでは、10本スポークデザインのサテングロスブラックの20インチ アルミホイールが特徴です。スポークの間からは、レッドのキャリパー、もしくはPCCBセラミックブレーキシステム装備の場合にはイエローのキャリパーが覗きます。リアで特に目立つ特徴は、718スパイダーおよび718ケイマンGT4由来の新型スポーツエグゾースト システムです。新デザインのロワリアセクションは718ボクスターGTSおよび718 ケイマンGTSのレタリング同様にブラックで、2本出しテールパイプが配されます。ダークティンテッドLEDテールライトおよびドアのブラックの「GTS 4.0」ロゴが外観を完成させます。

ポルシェ718 GTS 4.0モデルのインテリアでは、エレガントなアルカンターラ®がスポーティーな雰囲気を作り出しています。このブラックのファブリックは、2-way電動調節式のスポーツシート プラスのセンターパネルとステアリングホイールのリム、センターコンソールおよびシフトレバー、さらにアームレストおよびドアのクローズハンドルに使用されています。718ケイマンGTS 4.0では、Aピラーおよびブルーライニングもアルカンターラ仕上げとなります。丸型メータパネルのダイヤルもブラックとなっています。ハイグロスシルバーのトリムストリップおよびエレメントが、ブラックのコントラストとなります。オプションで、ブラッシュド加工のブラック陽極酸化処理アルミニウムデザインに変更することも可能です。ヘッドレストにはGTSのエンブレムがエンボス加工で施され、フロアマットにも同エンブレムがブラックで刺繍されています。また、ドアエントリーガードには、「Boxster GTS」または「Cayman GTS」のモデル名があしらわれます。車をスタートアップすると、標準装備のポルシェコミュニケーションマネジメント (PCM) のTFT画面にGTSロゴが表示されます。

オプションのGTSインテリア パッケージを装備すると、追加のコントラストカラーが加わります。カーメインレッドまたはクレヨンを選択でき、レブカウンター、シートベルト、ヘッドレストの刺繍のGTSエンブレムとブラックボーダーのフロアマットのPorscheロゴを含むすべてのデコラティブシームにアクセントを加えます。センターコンソールのトリムだけでなく、トリムストリップおよびトリムエレメントはカーボン製となります。

## **ポルシェコミュニケーションマネジメント： 操作が簡単なインフォテイメント**

718 GTS 4.0モデルには、ポルシェコミュニケーションマネジメント(PCM)も標準装備されます。オンラインナビゲーションモジュール、ボイスコントロールおよびPorsche Connectは、オプションで装備可能です。PCMには、近接センサーが組み込まれた高解像度の7インチタッチパネル式ディスプレイが採用されています。これは、スマートフォンのようにマルチタッチジェスチャーで簡単にストレスなく操作が可能です。携帯電話およびスマートフォンも、WLAN経由でオプションの接続プラスモジュールを使って統合することができます。また、オプションのリアルタイム交通情報により、ナビゲーションの信頼性が高まります。これは、現在の交通状況の概要を表示し、それを反映したルート修正が可能です。その他のPorsche Connectサービスもご利用いただけます。日本仕様にはリアルタイム交通情報を備えたオンラインナビゲーションモジュール、ボイスコントロール、Porsche Connectが標準装備に含まれます。

## **提供される国別、モデル別のConnectサービス詳細については、 [www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect)をご覧ください。**

オプション装備を選択すれば、ポルシェ718 GTS 4.0でさらに音楽を愉しむことができます。10チャンネルのBOSE®サラウンド サウンド システムは、特許取得済みの100Wハイパフォーマンスウーファーを含む10基のスピーカーで構成されます。フルアクティブのコントロールシステムは、それぞれのスピーカーを室内に合わせて最適に調整します。システムの総合出力は505Wです。また、ポルシェ718専用に調整されたBurmesterハイエンド サラウンド サウンド システムは、さらに高いオーディオ性能を備えます。このシステムは、300WクラスDアンプ搭載のアクティブサブウーハーを含む12基のスピーカーを備え、ダイヤフラムの合計面積は1,340cm<sup>2</sup>となります。周波数範囲は35Hz～20kHzで、12チャンネルのアンプの合計出力は821Wです。

## オプションのアシストシステム - より高いパフォーマンスのためのより高い安全性

718 GTS 4.0モデルには、マルチコリジョンブレーキなど、多数の安全システムが標準装備されます。このシステムは、1次衝突後に自動的に制動を行い、2次衝突の被害を軽減します。ポルシェスタビリティマネジメント(PSM)によって、限界域での走行中にも、車両のコントロールを容易に維持できます。オプションのクルーズコントロールは、下り坂で設定した速度を超えると、緩やかにブレーキをかけます。レーンチェンジアシストは、複数車線の道での安全性を高めます。このシステムは、15km/h以上で走行している場合にリアのレーダーセンサーを使って、車両後方およびブラインドスポットを監視します。30~250km/hでの走行中、このアシストシステムは、後方から接近する車両またはブラインドスポットに入ろうとしている車両があれば、ミラーフィニッシャーの警告灯で知らせます。警告灯は、ドライバーがターンインジケーターを操作するか、システムが車線変更を検出すると点灯します。レーンチェンジアシストは、特に高速道路での快適性と安全性を高めます。これは、車両のコントロールには介入せず、いつでもオフにすることができます。

## 新たなコミュニティーアプリ：“Roads by Porsche”

ROADSは、ドライビングを愛する方々のための新しいオンラインコミュニティです。このコミュニティは、車のメーカーやモデルに関係なく、世界中の熱狂的なドライバー同士を結びつけ、彼らのドライビングに対する情熱を分かち合うことができます。この無料アプリを使って世界中の最も壮大なドライブルートを検索することができ、ドライブによる次の冒険を計画することが容易になります。

56カ国以上から約10万人にのぼる愛好家がおのののベストドライブを撮影・共有することで、世界最大規模のユーザ発信による壮大なドライブコースのコレクションとなっています。Apple CarPlayをサポートしたアプリ内の独自デザインによるナビゲーションにより、ROADSは便利な音声ルート案内を提供しています。革新的なルート作成機能が任意に選択された出発地点と目的地の間にある、ドライブする価値のあるルートを瞬時にユーザに提案します。また、内蔵のデジタルマガジン、DESTINATIONSには熱狂的なドライバーやドライブルートについての特集記事が掲載され、次のドライブへの刺激となります。

ドライブを愛するすべての人のためのROADSアプリは、AppStoreから無料でダウンロードすることができます。

---

ハイライト

## マカンGTS

### 最もスポーティーなマカン。

ニューマカンGTSは、Sモデルとターボバージョンのギャップを埋めるもので、エクスクルーシブなデザインと卓越したダイナミックなパワーによって、特にスポーティーさとパフォーマンスを重視しています。

### 感動的なドライビング体験。

2.9リッターV6ツインターボエンジンを搭載したニューマカンGTSは、先代モデルと比べて最高出力は15kW(20PS)増、また最大トルクは20N・m増となっています。このパワーの増加に対応して、標準装備のスポーツエグゾーストシステムのサウンドも印象的なものとなっています。

### スポーツカーのような前後および横方向のダイナミクス。

車高が15mm低くなり、大型化されたブレーキを含む標準装備のポルシェアクティブサスペンションマネジメント(PASM)は、安定性と桁外れのダイナミックな車両のハンドリングを提供します。

### 独特な外観。

ニューマカンGTSは、独特なスポーティーかつエクスクルーシブな外観が特徴です。スポーツデザインパッケージは、スポーティーなアクセントを加えるとともにインテリアに多くのアルカンターラ®仕上げのアイテムが採用され、独特な外観とエクスクルーシブな触感で強い印象を与えています。

### GTS専用のアクセント。

フロントエプロンおよびフロントセクションのエLEMENT、20インチ RSスパイダー デザイン ホイール、ルーフスポイラー、ウインドウトリムストリップおよびリアのブラックのロゴがGTSの証となっています。LEDヘッドライトおよびLEDテールライトのバーもティンテッド加工されています。

## 概要

# ニューマカンGTSで、ミドルサイズSUVレンジが完成

ポルシェは、マカンシリーズを特にスポーティーモデルでまとめ上げます。ニューマカンGTSは、パワフルなエンジン、パフォーマンス志向のシャシー、独自のデザインと強化された装備を誇ります。2.9リッターV6ツインターボエンジンは、先代モデルと比べて15kW(20PS)増となる280kW(380PS)の最高出力を発揮します。新たなチューニングのPDKデュアルクラッチトランスミッションをオプションのスポーツクロノパッケージと組み合わせた場合、マカンGTSは、0～100km/hまで先代モデルより0.3秒より速い4.7秒で加速します。最高速度は261km/hです。

このポルシェのミドルサイズSUVファミリーの新たなメンバーには、傑出したドライビングダイナミクスなどによって、「グランツーリスモスポーツ」を意味するGTSという名が冠されています。車高を15mm低く抑えたシャシーは、専用チューンのポルシェアクティブサスペンションマネジメント(PASM)ダンパーコントロールと組み合わせられ、さらに大きな横方向のダイナミクスを誇っています。オプションで、さらに車高を10mm下げるアダプティブエアサスペンションも用意されています。標準装備の20インチRSスパイダーデザインホイールと、大型化されたねずみ鋳鉄ブレーキ(フロント360 x 36mm、リア330 x 22mm)を組み合わせたニューマカンGTSは、真のスポーツカーの俊敏性と瞬発力で他を圧倒します。オプションとして、炭化タングステンコーティングが施されたポルシェサーフェスコートドブレーキ(PSCB)、またはポルシェセラミックコンポジットブレーキ(PCCB)を装備して制動をさらに向上することができます。

ニューマカンGTSのドライビングプレジャーは、GTS専用のチューニングが施された標準装備のスポーツエグゾーストシステムによって音響的に高められています。このサウンド体験は、2.9リッターV6エンジンから生まれます。ターボチャージャーがエンジンのVバンク内側に配置されたセンターターボレイアウトによって、特にダイレクトなレスポンス特性を実現しています。520N・m(20N・m増)の最大トルクが1,750～5,000rpmの広い回転数域で発揮されます。

**この最もスポーティーなマカンモデルは、100kmあたり9.6リッターの燃料を消費します (NEDCによる)。**

ニューマカンGTSの卓越したスポーティーな性質は、視覚的にも強調されています。標準装備のスポーツデザインパッケージの新型フロントおよびリアエプロンと目を見張るようなサイドスカートによって、車両の外観が独自のものとなっています。フロントエプロンとノーズセクションは、ブラック塗装仕上げの

エレメントが特徴です。これは、すべてのポルシェGTSモデルに共通します。ポルシェダイナミック ライトシステム (PDLS) 装備のLEDヘッドライトと、立体的なLEDライトバーのテールライトも、ティンテッド加工が施されています。LEDヘッドライトは、オプションのPDLS Plusのブラックに変更することができます。車高を15mm抑えたシャシー、サテングロスブラックの20インチ RSスパイダー デザイン ホイール、レッドのブレーキキャリパーおよびハイグロスブラックのトリムストリップも高いパフォーマンスを髣髴とさせる外観を強調します。ブラックのカラーはリアでもアクセントを加えます。標準装備のスポーツエグゾーストシステムのディフューザーおよびテールパイプがダークなカラー塗装仕上げとなっています。

シートセンターパネル、センターコンソールアームレストおよびドアパネルのアルカンターラ®や、ブラッシュアルミニウムなどの高品質素材によって、マカンGTSのインテリアからスポーティーでエレガントな雰囲気視覚的にも触覚的にも感じることができます。シフトパドルを備え、リムにスムーズレザー仕上げを施したマルチファンクションスポーツステアリングホイールに加え、8-way調節およびダイナミックなコーナリング中に安定したサポートを提供する大型のサイドボルスターを備えたGTS専用スポーツシートも標準装備されます。カーマインレッドまたはクレヨンのGTSレザーインテリアと、追加のアルカンターラおよびカラーのアクセント、BOSE®サラウンド サウンド システムおよび電磁誘導充電機能を備えた新型スマートフォントレーなどが、パーソナライゼーションオプションの一例です。トラフィックジャムアシスト対応アダプティブクルーズコントロール、リバースカメラおよびサラウンドビュー対応パークアシスト、フロントウインドウヒーターおよびイオナイザーも、安全や快適性への要求を満たします。

エンジンおよびトランスミッション

## 特に自然なレスポンス特性を持つツインターボエンジン

マカンGTSの2.9リッターV6ツインターボエンジンは、ポルシェエンジンが誇る最高のパフォーマンスを発揮する可能性を秘めています。このエンジンは、マカンターボ、カイエンおよびパナメーラにも搭載されています。ニューマカンGTSの高回転型エンジンは、先代モデルの3リッターターボエンジンより15kW(20PS)増となる280kW(380PS)の最高出力を発生します。1,750~5,000rpmの広い回転域で、最大トルク520N・m(20N・m増)を簡単に利用することができます。オプションのスポーツクロノパッケージを装備した場合、マカンGTSは静止状態から100km/hまで4.7秒で加速し、最高速度は261km/hに達します。

このエンジンには、多くの革新的な技術が採用されています。特にセンターインジェクターによる燃焼行程、圧縮工程および吸入が最適化されています。ポルシェのすべてのV型エンジンと同様に、このエンジンはターボチャージャーがVバンクの内側に配置された、いわゆるセンターターボレイアウト設計となっています。そのメリットは、燃焼室とターボチャージャーの間の排気ガスの経路が大きく短縮され、傑出した鋭いレスポンスが得られることです。ドライバーは、特にダイナミックなドライビングスタイルを必要とする状況でその恩恵を受けます。

ドライビングダイナミクスサポートと呼ばれる最適化されたエンジンマウントによって、エンジンとシャシーの接続がさらに改善します。ステアリングのターンイン挙動は、よりダイレクトで俊敏です。特にスポーティーなマカンGTSでの大きな進歩は、コーナー脱出時の追従性の改善と、外側のタイヤのコーナリング力をさらにコントロールしながら活用できるようになったことです。

駆動力は、引き続き7速PDKデュアルクラッチトランスミッションとインテリジェントな4WDを含むポルシェトラクションマネジメントシステム(PTM)によって伝達されます。スポーツモードでは、トランスミッションのレスポンスがさらに鋭くなり、高速なギアシフトを実現します。オプションのスポーツクロノパッケージで、これをさらに一歩進めることができます。ノーマルモードでは、PDKは迅速かつ快適にシフトアップします。これにより燃料が節約され、長距離ドライブでの快適性が高まります。アダプティブクルーズコントロールと組み合わせた場合、PDKはコースティングモードも提供し、実際の走行条件でのさらなる燃費削減が可能です。

スポーツクロノパッケージを装備した場合、ステアリングホイールのモードスイッチでマカンGTSのドライビングスタイルを選択できます。ノーマル、スポーツおよびスポーツ プラスに加え、インディビジュアルモードではドライバー個人のセッティングを保存し、モードスイッチを使って直接それを作動することができます。モードスイッチの中心にあるスポーツレスポンススイッチをオンにすると、20秒間ブーストが与えられ、即座にマカンGTSのパフォーマンスを最大限に引き出すことができます。ミドルサイズSUVの中のスポーツカーが、アクセルペダル操作により自然に反応し、より迅速に最適な加速値を得ることができます。

オプションのスポーツクロノパッケージと組み合わせた場合、ポルシェスタビリティーマネジメント (PSM) には、独立したPSMスポーツモードが追加されます。この特にスポーツカー然としたセッティングによって、野心的なドライバーはマカンGTSの限界域にさらに近づくことができます。PSMは、バックグラウンドで常に作動しています。PSMスポーツモードは、選択しているドライビングモードにかかわらず有効にすることができます。



シャシーおよびシャシーシステム

## ローダウンされたシャシーによるスポーティーなチューニング

ニューマカンGTSの最も大きな強みは前後方向のダイナミクスです。車高を15mm下げた標準装備のポルシェアクティブサスペンション マネジメントシステムによって、このミドルサイズSUVはスポーツカーのハンドリングを実現しています。スチールサスペンション、アクティブダンパーシステムおよびスタビライザーが一新され、新たにチューニングし直されています。これは、変わらぬ安定性と向上した快適性を提供しながら、よりニュートラルなレスポンスによるさらなるドライビングプレジャーが得られることを意味します。ニューマカンGTSには、20インチ RSスパイダー デザイン ホイールが標準装備されます。専用開発されたタイヤは、パフォーマンス特性の改善に貢献します。ダイナミクスをさらに強化するために、ポルシェトルクベクトリングプラス (PTV Plus) および車高調整エアサスペンションがオプションで用意されています。他のマカンモデルと比較すると、GTSのシャシーは車高が10mm下げられています。

## 安全な制動のためのパワフルなブレーキシステム

マカンGTSには、安全に減速するために、フロントに直径360mm (リア:直径330mm) のねずみ鋳鉄ブレーキディスクとレッドのキャリパーが標準装備されます。さらなるスポーツ性を望むドライバーのために、ポルシェは特に継続して高い負荷がかかる用途向けに2種類のブレーキシステムをオプションで用意しています。ブレーキディスクに薄い炭化タングステンコーティングを施したポルシェサーフェスコートド ブレーキ (PSCB) は、従来のねずみ鋳鉄ブレーキと比較するとより迅速なレスポンス、大きな摩擦係数、摩耗の低減、および90%削減されたブレーキダストを特徴としています。負荷が高い状況下でも、世界中でポルシェのみから入手可能なこの高性能ブレーキが安定したブレーキ性能を約束します。PSCBの特徴は、ハイグロスフィニッシュのブレーキディスクと、ホワイ塗装仕上げのブレーキキャリパーです。定評のあるポルシェセラミックコンポジット ブレーキ (PCCB) もオプションで装備できます。

デザインおよび装備

## スポーツデザインパッケージの個性的な外観

マカンGTSのスポーティーな特性は、インテリアからも見てとることができます。このニューモデルは、アップグレードされた標準装備の恩恵を受けています。ブラックの「Macan GTS」ロゴが施されたブラッシュアルミニウムのドアエントリーガードは、卓越したパフォーマンスを発揮するスポーツカーであることを鮮明に打ち出しています。ブラックのブラッシュアルミニウム仕上げのインテリアパッケージはスポーティーなコントラストを醸し出し、品質の高さを印象付けます。レブカウンターにもブラック仕上げで「GTS」のロゴが施されます。パドルシフト付きのマルチファンクションスポーツステアリングホイールが標準装備され、さらにステアリングホイールヒーター付きのアルカンターラ®またはレザー仕上げGTマルチファンクション ステアリングホイールもオプションで用意されています。

## すぐれた横方向のサポートを提供する8-way調節式GTSスポーツシート

マカンのグランツーリスモスポーツバージョンの専用装備として、運転席および助手席にサイドボルスターが特徴の8-way電動調節式GTSスポーツシートが採用されています。このサイドボルスターは、ダイナミックなコーナリング中でも乗員への最適な横方向のサポートを約束します。前席および左右のリアシートのヘッドレストに施された「GTS」ロゴが、特別なモデルであることを強調します。マカンGTSでは、シートのセンターパネル、センターコンソールのアームレスト、およびドアパネルのアルカンターラ®ファブリックが標準装備となります。また、オプションでルーフライニングをアルカンターラ®仕上げにすることができます。

オプションのカーマインレッドまたはクレヨンのGTSインテリアパッケージで車内をさらにエクスクルーシブなものにすることができます。この場合、前席および左右のリアシートのヘッドレストにGTSのロゴがいずれかの色で刺繍されます。また、シートベルトもこれらのシートに合わせた色になります。レブカウンターのダイヤル、シートのデコラティブシーム、センターコンソール、コントロールパネルの上部、ドアパネルおよびフロアマットも同色になります。

そのほかにもパーソナライゼーションのためのオプション装備が多数用意されています。10.9インチのフルHDタッチスクリーンを備えたポルシェコミュニケーションマネジメント (PCM) が標準装備され、オプションでBOSE®サラウンド サウンド システムを選択することができます。このアンプは、14チャンネルで14基のスピーカーを駆動し、総合出力は665Wとなっています。他のマカンモデル同様、PCMに

は、Here Cloudを使ったリアルタイム交通情報に対応したオンラインナビゲーション、モバイルフォンプレパレーション、2つのオーディオインターフェースおよびインテリジェントなボイスコントロールが含まれます。そのほかの標準装備として、組み込み型SIMカードおよびSIMカードリーダーを備えたLTEテレフォンモジュール、Wi-Fiホットスポットおよび多数のPorsche Connectサービスを含むPorsche Connect Plusが含まれます。

Porsche Car Connectアプリで、スマートフォンを使って車両の一部の機能にアクセスできます。セキュリティサービスは、車両を盗難から守り、最悪の事態が発生した場合は、車両を発見します。また、リモートロック、緊急故障コール、およびエアバッグアラームが、さらに安全性を高めます。多数用意されているオプション装備には、Qi規格の電磁誘導充電機能に対応したスマートフォントレーも含まれます。ドライブをさらに快適にするために、フロントウインドウヒーターと標準装備のパーティキュレートエアフィルターを併用し、車内の空気の品質を改善するイオナイザーをオプションで装備することができます。

アシストおよびコンフォートシステム

## ドライバーをより広範囲にアシスト

ポルシェは、最新のモデルアップグレードの一環としてマカンのアシストシステムを拡張しました。ニューマカンGTSもこの恩恵を受けています。より高感度なセンサー、より強力なデータおよび画像処理能力によって新機能が実現しています。レーンキープアシスト、レーンチェンジアシスト、および制限速度ディスプレイがオプションで装備可能です。また、アダプティブクルーズコントロールをさらに進化させ、トラフィックジャムアシストシステムとなっています。

センターエアインレットに設置されたレーダーセンサーを使って、アダプティブクルーズコントロールシステムは前走車との車間距離を監視し、自動的に調整します。隣の車線から割り込んでくる車両も検出されます。必要に応じて、前走車の動きに合わせてシステムがブレーキを作動させて停止まで減速します。ストップアンドゴー機能によって、車両が停止した後も自動的に発進します。車両が3秒を超えて停車した場合は、短時間アクセルペダルを踏むか、コントロールレバーを操作して機能が再開されて発進します。

### 新たなトラフィックジャムアシストが停止と発進を繰り返す交通でサポートを提供

このトラフィックジャムアシスト機能は、ステアリングアシストでストップアンドゴー機能を拡張します。最適化されたレーダーと映像センサーシステムを使用して、このシステムは0～約60 km/hの速度範囲で車線の標示と、同じ車線または隣接する車線の前走車を検出します。このシステムがオンの場合、ステアリングに介入して車両が車線に留まるようにします。交通渋滞や交通の流れが遅い場合、このシステムによってドライバーのストレスを大幅に軽減し、快適性が大きく向上します。車両および歩行者との衝突のリスクを低減する警告およびブレーキアシストシステムはアダプティブクルーズコントロールの構成要素であり、トラフィックジャムアシストの一部でもあります。このシステムは、フロントカメラを使って衝突エリアに進入する車両または歩行者を検出し、第1段階としてドライバーに視覚的な警告と、警告音で警告します。前走車両に接近する速度が速すぎる場合、第2段階としてブレーキを断続的に作動させて警告します。必要に応じて、ドライバーによるブレーキ操作に対して、フルブレーキまで増力します。ドライバーが反応しない場合、衝突の被害を軽減するために自動緊急ブレーキが作動します。

ポルシェは、パーキングアシスト機能の3ステージシステムで、ニューマカンの日常の走行でドライバーをサポートします。オプションのフロントおよびリアのパークアシストは、低速での旋回時および駐車時に視覚的な警告と、警告音でドライバーに通知します。この機能は、車両のフロントとリアに装備された超音波センサーを使用します。パークアシストには、オプションでリバースカメラを追加することができます。これは、PCMの画面上にカラーのカメラ映像と動的なガイドラインおよび潜在的な障害物までの距離を表示し、車両の取り回しを補助します。サラウンドビュー対応のパークアシストの場合、4つのカメラから鳥瞰図を計算し、駐車および低速での旋回をサポートします。PCM画面の表示は、さらに高い解像度となっています。

日本仕様では安全性と快適性の向上のため、アダプティブクルーズコントロール、レーンチェンジアシスト、リヤビューカメラとサラウンドビュー機能付きパークアシストが標準装備となります。

オプションでさまざまなガラスパネルが用意されているため、個人のニーズに合わせてマカンの快適性をパーソナライズすることができます。ミドルサイズSUVとしては初めて、フロントウインドウヒーターがオプション装備できるようになりました。このオプションでは、フロントウインドウに特殊なフィルム層を設け、ヒーターワイヤーは使用しません。オプションで断熱および遮音ラミネートガラスを装備することができます。ラミネートガラスに新たな遮音フィルム層を設けた設計は、主に有害なUV光の100%遮断、車外からの騒音の効果的な低減、車内への侵入に対する保護強化の3つの改善をもたらしています。

断熱および遮音ガラスは、オプションのプライバシーガラスとの組み合わせも可能です。個別に選択することもできるこれらのオプション装備では、Bピラーより後方のすべてのウインドウにダークティンテッド加工が施されます。このティンテッド加工では、リアサイドウインドウからの可視光が20%未満(断熱および遮音ガラスと組み合わせた場合は30%未満)、リアウインドウでは30%未満に抑えられます。さらなるプライバシーを確保するため、プライバシーガラスとリアサイドウインドウのサンブラインドを併用することができます。

## 歴史

# 904カレラGTSからはじまるGTSモデルの歴史

さまざまなポルシェのモデルシリーズにおいて、すべてのGTSモデルにはセグメントで最もスポーティーで、最もダイナミックで、最も感動的なモデルであるという共通点があります。2015年、ポルシェのGTSモデルレンジは5つのモデルシリーズの2ドアおよび4ドアモデル、ハードトップおよびカブリオレ、マニュアルおよびPDKトランスミッション搭載の9バージョンに広がりました。2本の歴史的なポルシェDNAの螺旋がニュー718 GTS 4.0で交差しています。コンセプトや創造性の観点からも、718 GTS 4.0には、550スパイダー（1953年）、718 GTRクーペ（1962年）および904カレラGTS（1963年）の象徴的なミッドシップエンジンレーサーからの要素が取り入れられています。718ケイマンおよびボクスターには、これらの形状およびプロポーションの現代的な解釈が盛り込まれています。同時に、フェルディナント・アレクサンダー・"ブッツィー"・ポルシェがデザインした「カレラGTS」は、商標保護の理由で正式に904と名乗ることはできませんでしたが、ポルシェにおける初めてのGTSモデルと認められています。

しかし、最初に「グランツーリスモスポーツ」をレースの歴史に記したのは、ワイドボディが特徴的な1980年の924カレラGTSでした。2リッターターボエンジンを搭載した924カレラGTの軽量版（1,121kg）はエボリューションモデルとして406台限定で生産され、最高出力は245PS、最高速度は250km/hを超えます。うち50台は個別に公道使用の認可を受けました。また、最高出力375PSのレース専用バージョンおよび280PSのラリーバージョンも生産されました。1981年のドイツチャンピオンシップでヴァルター・ロールがセンセーションを巻き起こしたラリー車も、ヴァイザッハで専用に開発された924カレラGTSラリーでした。

今日では、GTSはそれぞれのシリーズのスポーティーなオールラウンダーを意味し、ハイパフォーマンスなGTモデルとは一線を画しています。1992年、928 GTSはこの精神を受け継ぎました。5.4リッター8気筒4バルブエンジンを搭載した928 GTSは、このトランスアクスルスポーツカーの歴史において頂点を極めました。このエンジンは最高出力350PSを発生し、5速または4速オートマチックトランスミッションとの組み合わせが可能でした。928 GTSは、0～100km/hまで6秒未満で加速し、最高速度は275km/hでした。1995年に928シリーズの歴史はこのモデルで幕を下ろしました。

その12年後の2007年、V8自然吸気エンジンを搭載したカイエンGTSが、それ以降のポルシェGTSモデルの青写真を提供しました。最高出力430PSとより硬めのチューニングが施されたシャシーによって、この4ドアモデルがさらにスポーティーになりました。多数のブラックのデザインエレメントが採用され、さらに相応しいサウンドが外観にアクセントを加えました。2012年からは、これは後継モデルのカイエンGTSにも適用されました。最高出力309kW(420PS)のこのモデルも、当時のスポーツSUVのどの自然吸気エンジンモデルよりもパワフルでした。

2010年には、初めて911カレラGTSが登場しました。最高出力300kW(408PS)を発揮するこのモデルは、997型の911においてカレラ、ターボおよびGTモデルの間をつなぐリンクとなっていました。このモデルには、クーペおよびカブリオレ、後輪駆動および4WD仕様車が用意されましたが、いずれもSモデルより44mmワイドボディ化されていました。当時も、ブラック塗装のフロントスポイラーリップとレッドのブレーキキャリパーが視覚的な特徴となっていました。その他の特別装備として、モータースポーツ由来のセンターロックシステムが採用された19インチ アルミホイールがありました。同じ理念に基づいて、2014年にポルシェは991型に911カレラGTSを設定し、クーペおよびカブリオレバージョンに加え、初めてタルガを追加しました。その3.8リッター水平対向6気筒エンジンの最高出力は、316kW(430PS)にアップされました。

2011年にGTSバージョンが追加された3番目のモデルは、ポルシェのスポーツサルーンであるパナメーラでした。当初は、最高出力316kW(430PS)の4.8リッターV8エンジンと7速PDKの組み合わせでスポーティーな性格が前面に押し出され、最高速度は288km/hに達しました。4WDのパナメーラGTSは、380PSのパナメーラSと500PSのパナメーラターボのギャップを埋めるものでした。フェイスリフト後には、最高出力が324kW(440PS)にアップしました。2018年には、4リッターV8ツインターボエンジンが搭載された第2世代のパナメーラGTSが発売されました。このエンジンは最高出力338kW(460PS)で4輪を駆動し、パナメーラGTSスポーツツーリスモとパナメーラGTSにも搭載されています。

2015年に初めて、マカンにもGTSバージョンが導入されました。265kW(360PS)の最高出力、より洗練されたシャシー、および最高速度256km/hを誇るこのモデルは、シリーズで最もスポーティーなバージョンの地位を確立しました。このモデルは、あらゆる点でパフォーマンスが強化された後継モデルに引き継がれています。

その1年前の2014年、GTSのフィロソフィはポルシェ ボクスターおよびケイマン クーペにも波及していました。ミッドシップエンジンスポーツカーにGTSが加わったのは、ポルシェ904カレラGTS以来、初めての出来事でした。この2シーターは最高出力250kW(340PS)の3.4リッター6気筒ボクサーエンジンとポルシェPDKデュアルクラッチトランスミッションの組み合わせにより、0～100km/h加速4.9秒と281～285km/hの最高速度を誇りました。2017年の後継モデルには、さらに高出力の2.5リッター4気筒ターボエンジンが初めて搭載されました。

そして2020年、294kW(400PS)を発生する6気筒の高回転型自然吸気ボクサーエンジンを搭載した718 GTS 4.0が登場し、ポルシェのGTSの歴史の次の章が始まりました。中国市場では、ターボエンジン搭載モデルが継続販売されます。